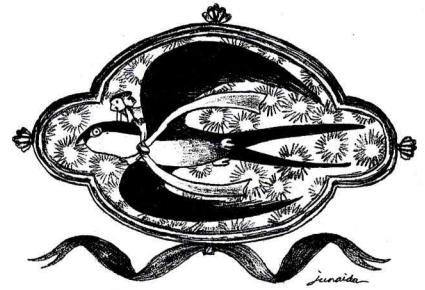


朝日歌壇俳壇



〈日曜日のブローチ 01〉 junaida

◆高山れおな選

英霊の父と遊びし野に遊ぶ

渡来人背なを撫でけん孕み馬

永き日の果てはありけり繩のれん

引力と戯るる子や半仙戯

春はあけぼの輝きながら落ちる雪

たんぽぽのたんたん時間ほぼ時間

花木五倍子蜜を吸わるるたび揺るる

春惜しむなくしてわかるるたからもの

啓蟄や上手に曲がる車椅子

染卵ローマ泊りの枕辺に

神々に家系図のある臍かな

(京大津市) 多田羅初美

(千葉県栄町) 池田 祥子

(青梅市) 市川 蘆舟

(北本市) 萩原 行博

(広島県熊野町) 中村 竜哉

(取手市) 長瀬 道子

(廿日市市) 伊藤ぼこむ

(福島県伊達市) 佐藤 茂

(いわき市) 吉田 恵

(東京都世田谷区) 松木 長勝

(久留米市) 川北 敦子

〈日曜日のブローチ〉をお届けします

本日4月6日付の紙面から1年間、歌壇俳壇面の挿絵は画家のjunaidaさんが担当します。1978年生まれ。2015年に「HOME」でポロニャ国際絵本原画展に入選しました。18年の「Michi」以降、「の」「怪物園」「街」以降、「EDNE」「世界」など立て続けに絵本を出版し、「怪物園」はIBBY(国際児童図書評議会)ピーターパン賞など受賞。「の」は昨年11月に切手にもなりました。

今回、歌壇俳壇面の挿絵を手がけることを決めたのは、「俳句や短歌と自分の絵という組み合わせに興味があったから」というjunaidaさん。「祖父は多摩のお百姓さんで俳句も詠んでいて、私家版の句集も残してくれたので今もたまに聞くことがあります。自分が絵本作りの中で、短さ、奥行き、彩り、といったことを意識するのは、何か俳句に通じるものがあるのかもしれない」

「チ」には、こんな思いが込められています。「週」の連載というところで、この挿絵が読者のみなさんの一週間を彩るお守りのような存在になれたら素敵だなと考えました。空想のブローチではあります。日曜日ごとに会えるお守りのブローチを、こっそり心のどこかに付けて過してもらえたらうれしいです」

◆今月から川野里子さんが歌壇の選者に加わります。
◆「大串章選」は選者が体調不良のため休みます。

第36回斎藤茂吉短歌文学賞 同賞運営委員会主催。本多俊さん(57)の「時烈」(本阿弥書店)に決まった。
大辻隆弘著「短歌の「てにをは」を読む」助詞や助動詞に注目し、歌の新たな見方や魅力伝えるエッセー集。(いのり舎・1980円)

☆は共選作。入選作はデジタル版などにも掲載・収録し、記事やSNSで引用することがあります。投稿は未発表の自作のみ、二重投稿不可。選者が添削する場合があります。郵便での投稿は無地のはがき1枚に1作品、横に住所、氏名、電話番号を明記。〒104-8661 晴海郵便局私書箱300、短歌は「朝日歌壇」、俳句は「朝日俳壇」へ。ネットからも投稿できます(週に2作品まで)。QRコードから。

貝寄風やヒリケンさんの足平ら

(萩市) 長岡 悦子

【評】多田羅さん。父はやがて戦死して英霊に。複雑な時間表現の妙。池田さん。実は日本人は縄文人以上に渡来人の子孫。市川さん。言水の「果」はありけり海の音に如る。一般には推奨しない作り方が巧いには違いない。

◆小林 貴子 選

極揚げにすべての春をまとめけり

卒業の制服のままラストラン

春場所や熱海富士の孫娘

☆俳句より妻子を愛す蔭の墓

猫退かし春の炬燵を片付ける

のどかにシーラカンスのやうになり

何も無い襟裳の春は素晴らし

(松山市) しのはらまさし

(いわき市) 木内 洋

(京都市) 西田 松栄

(鎌倉市) 佐々木 眞

(小金井市) 二瓶 文吾

(河内長野市) 山中 章良

(武蔵野市) 相坂 康

抽象化されし悲しみミロの春

球春や応援準備ばかりなし

薔薇芽ふみふくれつらの十七歳

充電といふ名の怠惰山笑ふ

AIのやうな人間万愚節

(京田辺市) 加藤 草児

(本庄市) 篠原 伸允

(東京都杉並区) 漆川 タ

(仙台市) 武田 道直

(さいたま市) 齋藤 紀子

【評】一句目、春の野菜や山菜を揚げものに。美味しくて力が出る。二句目はまさに青春映画のラストシーン。しかし卒業後も物語は続く。三句目、よくある孫俳句とは異なり、面白い。四句目、比べなくても良いがどうぞ熱愛を。

◆長谷川 權 選

着席の遅れてあはれ花衣

宗祖西行法師花浄土宗

渦潮にもまれ咲くなり桜鯛

(東京都世田谷区) 須藤 渉一

(岐阜県揖斐川町) 野原 武

(松山市) 河村 俊作

一二片花のさまよふ簞かな

本人は感慨もなく卒業す

ウォーホルのバナナ一本日永なる

松島やああ松島の松の芯

口そへ何を喰ふか落ち椿

アメフトの赤き肉塊春の雪

福島を追はれたあの日黄水仙

花種を師より戴き杏子の忌

☆俳句より妻子を愛す蔭の墓

(鎌倉市) 佐々木 眞

(一関市) 砂金 眠人

(いわき市) 小野 康平

(敦賀市) 中井 一雄

(青梅市) 市川 蘆舟

(京田辺市) 加藤 草児

(尾張旭市) 古賀勇理史

風信